

農作業事故の聞き取りによる詳細調査から得られた事故別対応策

事例

脚立に昇って柿の収穫中、脚が完全開脚して落下。
(右脚脛骨骨折、富山県 71歳男性)

調査から分かった現場の状況

柿の収穫を傾斜地で行っていた。脚立の3本脚のうち、1本を大きく開いて設置、全10段のうち、8段目に昇って作業をしていたところ、開いていた1本の脚が滑って、完全に開ききり、落下。落下の際、脚立の踏み台にぶつかり、右脚の頸骨を骨折。脚立を大きく開脚していたため、開脚防止のチェーンが掛けられなかった。



現場の写真

心に刻もう

脚立の開脚防止チェーンは必ずかける

自分で今日から取り組もう

- 無理な脚立の使い方をしない。
- 脚立上はバランスが悪いので重心のかけ方に注意する。

みんなと一緒に取り組もう

- 開脚防止の鎖の長さ以上に脚を広げたり、逆に狭く直立に近い状態での脚立の使用を地域ぐるみで防止する。

先人の事故被害を無駄にしないために

ここには、事例に応じた対策を記載していますが、実際には、使用する機械や道具の状態、ほ場や農道の状況によって、現場に応じた様々な対応策が考えられます。地域における農作業事故根絶に向けて、どのような取組がもっとも効果的か、地域の皆様で継続して検討していきましょう。



この他にも農作業安全情報をHPに掲載!

農水省 農作業安全

検索